

今、何を(1) はじめに

1日目にやる「5+5+8」が分かった！
(安全確認+受入準備+受入整備)

- そのため、**今、何に取組めば？**
- モデルマニュアルに一通り記載！
(事前準備編、避難・開設・運営編)
- 基本は、**地域版マニュアルを作る！**
(避難施設毎に)

今、何を(2) 避難施設毎になぜ必要か

- 地域特性が違う。
(世帯や住民数・加入率・土地利用・・・)
- 地形や建物が違う。
(校門・校庭・建物・高低差・・・)
- 知っていないと素早い対応不能。
(5+5+8ルール・現地・現物・やり方・・・)
- 自信を持ってリード可能。
(迅速・確実・未加入者対応・・・)

以下、小川高校の取組み例の紹介。

今、何を（3） 作業部会の立上げと内容

- 関係者連絡会の中に

5自治会のみ（案 → 学校や市へ提示・相談）

11名（会長・隊長など、実務は隊長）

月1回会議 + 現場作業 + 学校や市へ問合せ

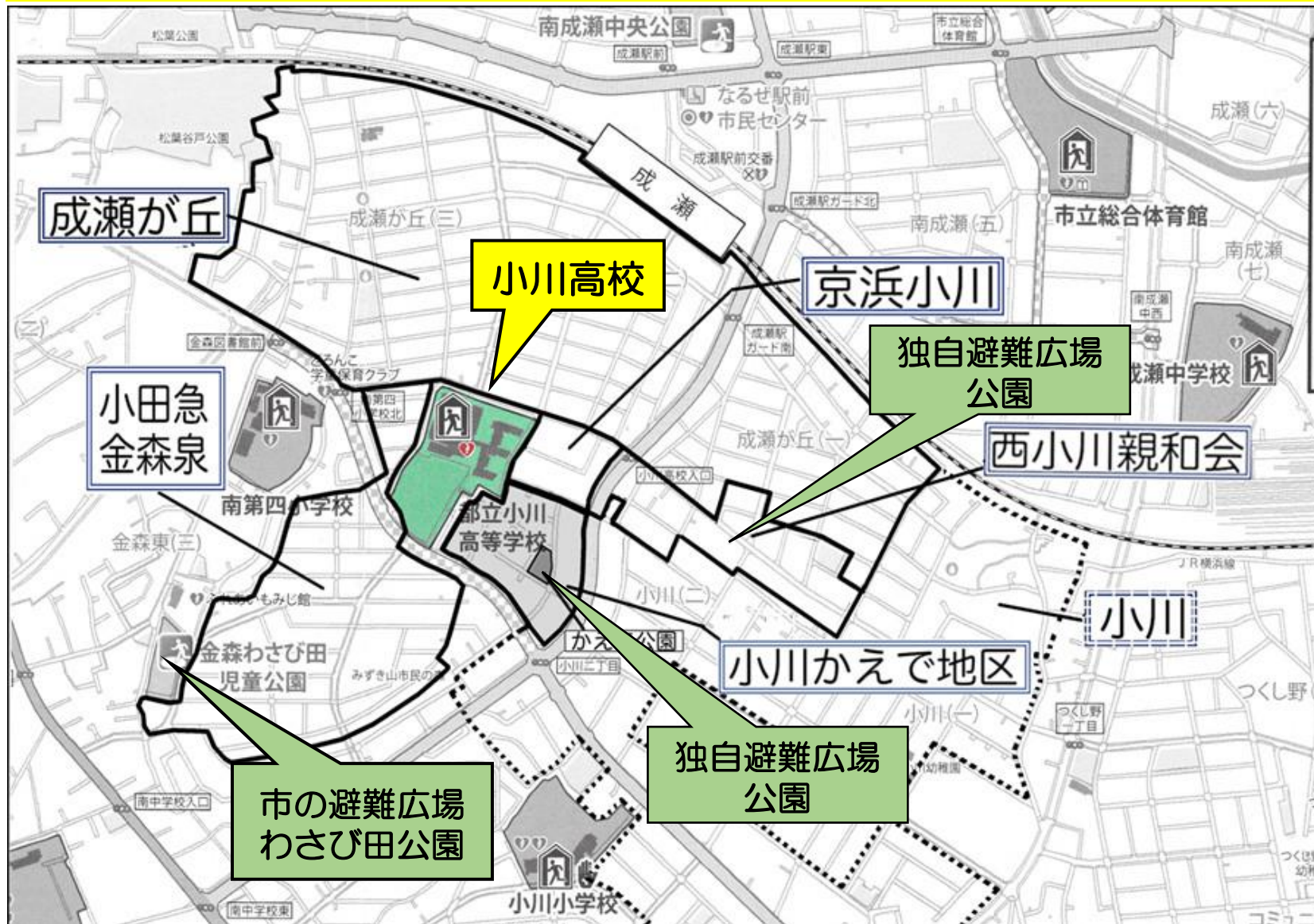
- 情報交換

各自治会 → 区域・組織・住民・避難など

- 作業分担

周辺情報・学校相談・防災倉庫・掲示物や台帳
まとめ作業

今、何を(4) 周辺地域の把握と整理



今、何を(5) 周辺地域の把握と整理

- 避難者数などの概数把握 → 準備の目安と覚悟
各自治会の世帯数等、加入率、市の避難者率など積上げ

市防災課へ問合せ → 市に別の推計値あり
メッシュ状の特性をもとに避難施設毎の数値
- 避難の仕方が加入率で違う
低い 自宅 → → → 校庭→体育館
高い 自宅→班集合場所→公園→体育館

対応のため → 全体制御のルールなど必要
- 避難生活で必要と思われる情報調査
(行政、医療、商店、公衆電話などのリストと地図)

今、何を（6） 避難施設等のコンセプト確認

- 小川高校は、避難広場と避難施設の両方。
（町田市の全71ヶ所の避難施設も同じ）
- 発災当初の開設は、開設委員会がリード。
（開設は、ものすごく急ぐ）
- 避難施設は、「生活の場」避難者自らで運営。
（運営委員会 → 自分たちのことは自分たちで）
- 避難施設は、地域支援や地域発信の拠点。
（物、情報、サービス受取・要望発信）

今、何を（7） 学校への聞取りと利用計画

- 学校との信頼関係築く → 使わせて頂く
- 敷地、建物、施設の把握
図面、校内見学、計測、防災施設の有無
（市倉庫、マンホールトイレ、応急給水栓など）
- 利用「可・不可」の確認
- 利用計画図の作成（開設時の校内案内図にもなる）

別紙 避難広場・避難施設計画図を参照！

今、何を（８）学校や市職員の駆け付け時間

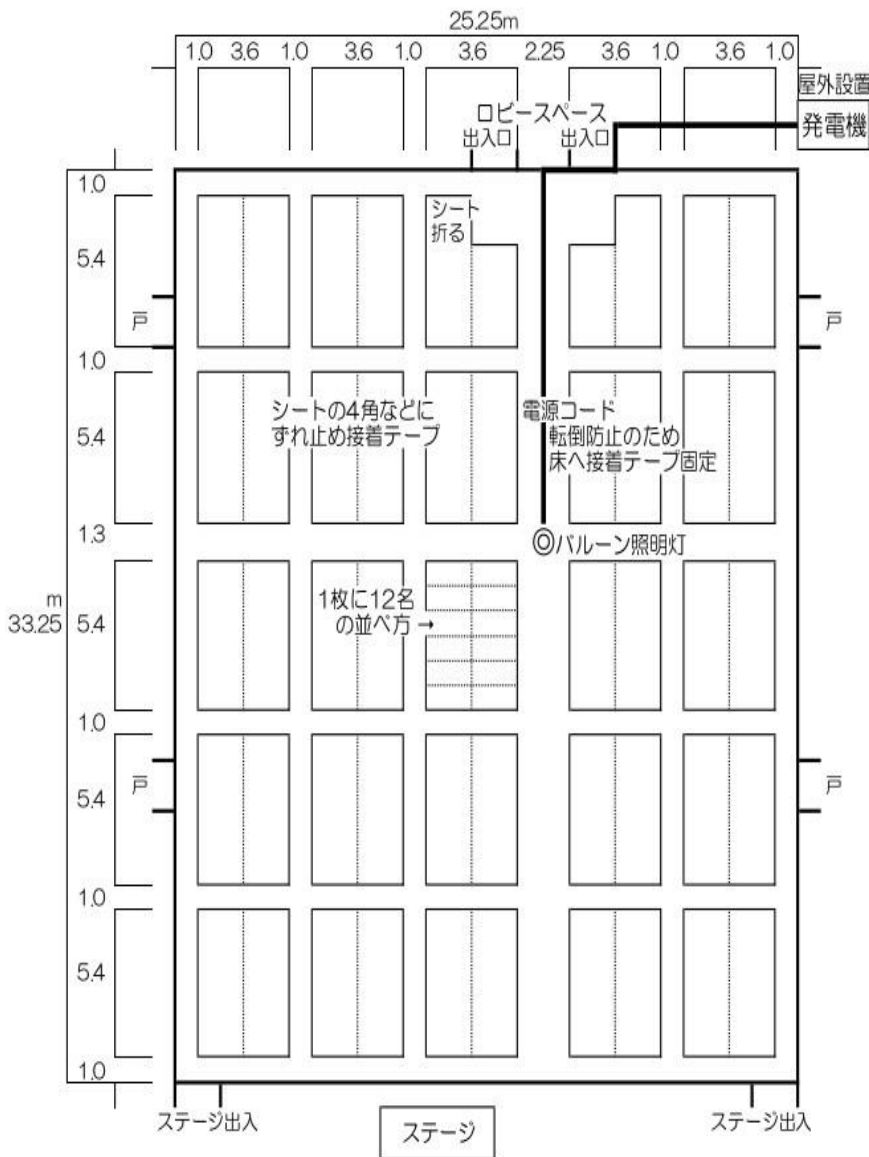
<u>目安時間の聞取り</u> (単位：分)	学校の方			市の指定職員			
	A	B	C	A	B	C	D
平日の昼（勤務地）	○	○	○	60	120	60	60
休日と夜（自宅）	×	×	30	10	10	15	45

- 曜日や時刻で、いる場所が違う。
- 徒歩時速4km、自身や家族の安全措置時間含まず。
- ○学校にいる ×当面来れない距離

目安時間で来れないことも

→ 30分以上待たず、地域の開設委員で始める！

今、何を(9) 体育館の実寸配置計画



- 誰も跨がないでトイレに行ける
- ブルーシートで素早い作業

25枚 × 12名 - 4 = 296名
 (出入口付近4名分を不使用)

1枚 (3.6m × 5.4m) に12名
 1人当り半坪 (0.9m × 1.8m)

通路巾は、最低1m
 広い通路に、バルーン照明灯

今、何を（10） 体育館のエアーマット

エアーマットの
端を折って枕に



エアーマットで
床の固さと冷氣断絶

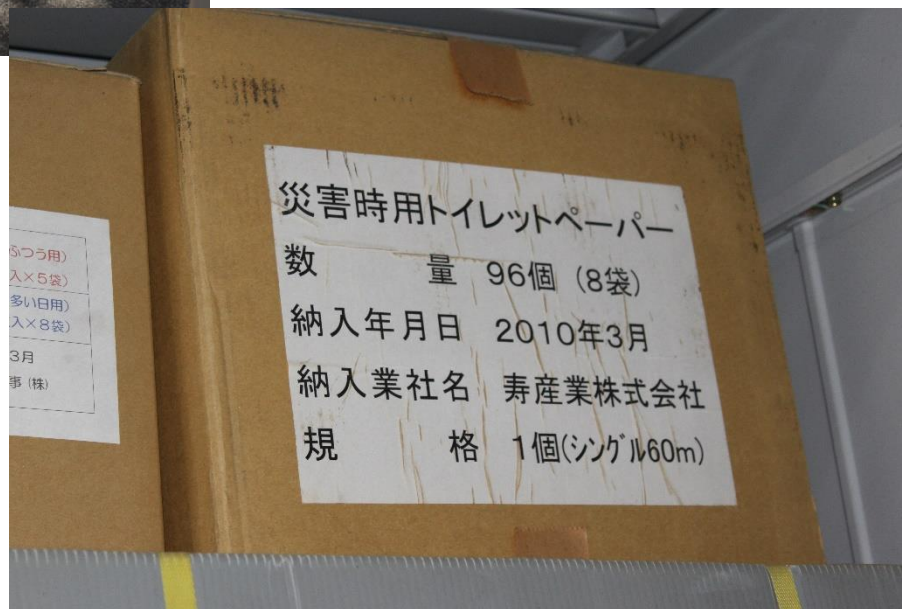


今、何を（11） 倉庫内のチェックと整理など

- 棚 卸 し 品目と数量
- 地区で購入 市の計画にない必要物
土足入袋、梱包テープ、衛生関係品・・・
- 開設セット すぐ使うものを箱に
- 倉庫内整理 すぐ使うものを手前に
開設セット、トイレ関係、照明・・・
- リスト作成や写真撮影（ファイルに整理）

以上全作業は、数人で数回必要 以下写真を少し紹介

今、何を(12) 仮設組立てトイレとペーパー



今、何を（13） バルーン照明灯と発電機



今、何を(15) アルファー化米と炊き出し釜



今、何を(16) 小倉庫の中、いろいろ



今、何を(17) 安全チェック表の用意

様式-XX 《目視による安全チェック表》(避難所名: _____)

- ★ 避難施設の体育館を例に、建物の安全確認項目を記載しています。
- ★ 避難者が、避難施設で事故に合うことを予防するための点検ですので、施設に危険を感じる場合は、避難施設としての使用を控えてください。
- ★ 確認者の安全を第一とし、建物が明らかに危険な場合は実施しないでください。

1 建物周囲や建物全体の確認

建物の周囲の地面に亀裂があったり、周囲の建物が倒れてきそうな危険はないか。	ある	ない
建物の一部が崩れたり、つぶれたりして形が変わっていないか。	ある	ない
建物が傾いたり、沈んだりしていないか。	ある	ない
壁や柱に大きなひび割れや亀裂が入っていないか。	ある	ない
鉄骨の骨組みが壊れたり変形したりしていないか。	ある	ない
出入り口の扉の開閉ができない箇所が複数あるか。	ある	ない

* 「ある」に1つでも○がある場合は、避難施設として使えません。速やかに建物から離れてください。他の安全な避難施設を探す必要があります。

×

* 全て「ない」なら内部の確認へ

2 建物内部の確認

上部の確認 (以下の落下がないか。余震により落下しそうな破損はないか。)		
①天井	ある	ない
②照明器具	ある	ない
③吊り下げ式バスケットゴール	ある	ない
④窓ガラスや窓枠	ある	ない
床面の確認		
①床面の陥没はないか	ある	ない
②窓ガラスの飛散はないか	ある	ない
側面の確認		
①壁に大きな破損、ひび割れがないか	ある	ない
②壁の剥離がないか	ある	ない
③備品が転倒していないか、転倒する危険がないか。	ある	ない

* 色付の部分で「ある」に1つでも○がある場合は、避難施設として使えません。

×

* 色なしの部分で「ある」に○をした場合は、落下物を排除して使えるか、落下や転倒の危険のある部分を避けて使えるかを確認して、判断してください。

△

* 全て「ない」なら使用可

○

- 名称
目視による安全チェック表

- 予備も含め

開設セット箱内に

目立つように

今、何を（18） 避難施設での生活ルール周知

ルール掲示の課題

- モデルマニュアルのままでは、文字小さい。
- 小川高校周辺は、外国人少ない。

解決策

- 文字大きい日本語のみの掲示。
- 外国語冊子（英・中・韓）を該当者配布。

開設セット箱に

今、何を（19） 場所や部屋の案内表示

「場所や部屋の用途」を記したものの用意

例えば

- トイレ（男女） 更衣室（男女）
- ゴミ集積場
- 要配慮者用
- 運営委員会室
- 相談室 など

開設セット箱に

今、何を(20) 各種管理票や台帳など

- 住居を失った避難世帯などに配付する

以下登録票を推定数に基づき用意。

簡易・避難者登録票		係記入欄		
下表1～6を記入し、提出して下さい。				
1	登録年月日	20	年	月 日
2	町内会等の名	未加入者 (該当は○で囲む)		
3	住所 (町田市・その他)			
4	家族等代表者名			
5	人数	男性	女性	合計
6	要配慮者 (該当を○で囲む)	いない	傷病者・障がい者・高齢者・妊産婦・乳幼児	
		状態他の説明		

- その他の管理票や台帳も、当面の必要数を推定し用意。

開設セット箱に

今、何を（21） 仕上げを忘れずに

以上、地域版マニュアル「5+5+8」は
準備できたようですか？

仕上げは、**訓練！**

マニュアルから**訓練内容が見え、**
必要点や程度も分る！

計画・訓練・評価・改善を、**毎年継続！**
(PDCA)

作業部会を設けて1年と少し！

いざと云う時の円滑な活動を確認！

相互理解で、自治会同士も近づいた実感！

終